

<推奨コース>

Aコース 館山駅～紅屋商店～館山城～赤山地下壕 [距離] 約5km [所要時間] 徒歩約70分



<おすすめスポット>

**9** 紅屋商店(べにやしうてん)

金物を商う紅屋商店は、現在の南房総市和田町にありましたが、明治26年長須賀に移転しました。当時、和田で使用していた建物を移築し、あらためて長須賀で開業しましたが、大正12年(1923)の関東大震災で、店舗、住宅ともに倒壊しました。いち早く復興し商売を再開するために、店舗として活用されたのが、地震に耐えて残った蔵です。大正13年3月に作業が完了したことが、店舗2階に残る墨書からわかります。震災後、長須賀一帯には、蔵を活用した店舗が数件あったといいますが、現在残っているのは、紅屋商店店舗のみです。1・2階とも漆喰塗の防火扉が設けられ、震災復興期の店舗建築の特徴をあらわしています。主屋は、店舗の東側に連続して建てられ、東西棟の切妻造、木造2階建てで、南面西端に入母屋造(いりもやづくり)の玄関が設けられています。2階に床・棚付の座敷があり、昭和初期の住まいの形態が特徴です。

**14** 城山公園・館山城(しろやまこうえん・たてやまじょう)

里見氏の居城・館山城跡を戦後に整備した公園です。山頂には天守からの鏡ヶ浦を中心とした市街地が一望できる三層四階天守閣様式の博物館分館、中腹の館山市立博物館と併せて歴史の散策が楽しめます。

公園内には季節に合わせて水仙、梅、椿、桜、ツツジ、さつき、あじさい、山茶花などの花木が咲き揃います。頂上付近には万葉集に詠まれた植物を小径に集めた「万葉の径」や「つばきの径」がつけられ、桜、松、梅が配植されています。桜は名所の一つとなっていますので、4月上旬の開花時期は花見客で賑わいます。白砂利の枯山水や小流れをしつらえた日本庭園と茶室は茶会等に利用でき、公園全体が市民の憩いの場となっています。また、芝生広場や児童公園、博物館本館も公園内にあります。芝生広場には、土産処「里見茶屋」もありますのでご利用下さい。

**17** 赤山地下壕(あかやまかごう)

建設時期については、1930年代半ば頃に工事がはじめられたとする説もありますが、この地下壕の建設に携わった旧館山海軍航空隊兵士の複数の証言から、1944(昭和19)年以降に建設工事が開始されたことや、1945(昭和20)年8月15日の終戦の日まで工事が行われ、未完成であること等が明らかになってきています。館山海軍航空隊赤山地下壕が防空壕として建設され、かつ一部が使用されていたことは、防衛庁防衛研究所所蔵の「館山航空基地次期戦備施設計画位置図」の赤山地下壕の位置に「館空自力発電所」「工作科格納庫」「館空応急治療所」という記載があることや、内部にある発電施設跡、終戦間際にこの壕の中で実際に館山海軍航空隊の事務を行った、あるいは、病院施設があったなどの証言から、知ることができます。